

(様式2)新規評価シート

建設部 都市・まちづくり課

事業名		補完的な道路の整備		路河川名等	(都)中央道り線					
事業毎の通番		2	市町村名	大町市	箇所名(ふりがな)	北大町(きたおおまち)				
事業概要	事業目的	当該区間は、大町市街地の人家連坦地であり、大町文化会館・俵町公民館・北大町駅・かえで保育園など公共施設が集中しているにもかかわらず、歩道整備が遅れている。特に、冬期は豪雪地帯であることから歩行空間の確保が極めて難しく、通勤・通学をする歩行者と車とが輻輳し極めて危険な状態であるため、これを解消する必要がある。								
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	都市計画法					
	関連する事業、計画等	大町市都市計画マスタープラン								
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量 9,900台/日								
	着手年度	平成27年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	1.2	国庫	450,000	75,000	202,000	23,000		
全体事業内容(主な工程)	道路拡幅工 L=450m W=6.0(16.0)m			750,000	450,000	75,000	202,000	23,000		
27年度事業内容(主な工程)	用地測量 1式 物件調査 1式 用地補償 A=700m ² 物権補償 5戸			300,000	180,000	30,000	81,000	9,000		
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	・市街地の骨格軸の形成による交通の円滑化及び交通安全の向上。 ・歩道の設置による歩行者の安全性の確保。								
	間接的効果(定量的・定性的)	・交通の円滑化を図ると共に、防災機能を有し、安全で安心して通行できる道路を整備することで、既成市街地の人口流出抑制並びに定住化を図る。								
評価の視点	必要性	○計画自動車交通量 9,900台/日 ○交通結節点アクセス(1次アクセス) JR信濃大町駅 ○中心市街地のにぎわいづくり(沿道用途) 近隣商業地域 ○地域の特性 観光に資する道路						評価	A	
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 長野県総合五ヶ年計画における整備主要箇所 ○緊急輸送道路等の路線指定 大町市地域防災計画における、市内交通確保計画路線に指定						評価	A	
	効率性	○費用便益比(B/C) 1.24 ○事業年数 5ヶ年 ○工法等の比較検討 維持管理の容易性を考慮した構造物の採用						評価	B	
	緊急性	○近年(3ヶ年)の交通事故件数 1件(死亡事故) ○渋滞対策・混雑度 0.36 ○通学路対策 平成25年年度合同点検要対策箇所 ○自転車対策 自転車歩行者道に指定が可能						評価	B	
	計画熟度	○事業情報の供用 平成25年8月22日事業説明会を実施。 ○地域の取り組み 地元自治会より要望あり ○地域の合意形成 合意形成が図られている ○住民との協働 街路樹の維持管理方針について関係自治会と協議中						評価	B	
	部意見	事業の必要性、重要性が高いため平成27年度より新規事業化を図りたい。		行政改革課意見		大町市街地の人家連坦地で公共施設も集中していることから、必要性、重要性が認められる。		評価結果	○	総合評価

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意) 平面図

標準横断面

位置図

【整備の必要性がわかる状況写真等】

事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該区間は、大町市街地の人家連坦地であり、大町文化会館・俵町公民館・北大町駅・かえで保育園など公共施設が集中しているにもかかわらず、歩道整備が遅れている。特に、冬期は豪雪地帯であることから歩行空間の確保が極めて難しく、通勤・通学をする歩行者と車とが輻輳し極めて危険な状態であるため、これを解消する必要がある。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成15年5月に道路行政懇談会にて地元区から要望有り。平成25年度には俵町自治会より要望されている。
③事業説明等の経緯	平成25年8月22日に住民説明会を実施。住民からの反対意見は無し。平成26年度早期に設計内容について第2回住民説明会を実施する予定。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	しあわせ信州創造プラン(主要整備箇所)、大町市都市計画マスタープラン
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	既成市街地で大町西小学校の通学路に指定されているため、車道を排水性舗装とし、水たまりの飛散防止や騒音低減効果を図る。
⑥地域活性化への影響と配慮	交通の円滑化を図ると共に、防災機能を有し、安全で安心して通行できる道路を整備することで、既成市街地の人口流出抑制並びに定住化を図る。 なお、周囲に文化会館、公民館等の公共施設が集中していることから、公共施設の利用増加にも期待できる。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36° 31' 01" 55 東経:E 137° 51' 18" 06

事業周辺環境